



2016年度 年間聖句

わたしたちは神のために力を合わせて働く者であり、あなたがたは神の畑、神の建物なのです。

コリントの信徒への手紙一 3章9節

新年を迎えて

同窓会副会長 塩治みはる



同窓生みなさま、謹んで新年のお慶びを申し上げます。平素は同窓会にご協力ご支援ありがとうございます。

昨年広島女学院は創立130周年を迎えました。同窓会は、創立130周年記念行事として湊晶子院長・学長先生による講演会「キリスト教史2000年と広島女学院130年」を7月30日に開催いたしました。真夏の暑い最中でしたが、同窓生をはじめ多くの方々のご参加をいただき盛会のうちに終えることができました。ここに深くお礼申し上げます。

また、4月には「G7広島外相会合配偶者プログラム」の一環として、外相夫人5名が女学院中高を訪問されました。同窓会からは被爆70年記念証言集「平和を祈る人たちへ」英語版を同窓会本部幹事でもある岸田裕子外相夫人を通して直接贈呈することができました。

さて、今年のホームカミングデーは4月22日(土)開催です。(詳細は別紙参照)多くの同窓生、恩師と楽しい交わりの時を持ちましょう。お帰りをお待ちしています。

すでにお手元に届いていると思いますが、「創立130周年記念募金」趣意書をご覧いただき、ぜひともご理解ご賛同くださり募金活動にお力添え賜いますよう、同窓会からもよろしくお願いいたします。

また、同窓会へのご希望や忌憚のないご意見、新しく変わりました同窓会報へのご希望や企画をぜひお寄せください。

母校のますますの発展と皆さまのご健康と平安を祈り、同窓会へのご協力ご支援をいただきますよう今年もどうぞよろしくお願いいたします。

秋晴れの11月3日文化の日、今年も女学院中学校地に同窓会バザーテントが張られ、たくさんの方にご来場頂きました。食品テントには厳選された仕入れの季節の果物やパン、クッキー等が所狭しと並び、物品販売テントには手作りアクセサリーや献品のタオル、陶器、雑貨類が並べられ、掘出し物を探すお客様で1日中賑わいました。同窓会館のカフェアイリスからは、かぐわしいコーヒーと甘いケーキの香りが漂います。人気のケーキはアマンディースとアップルタルト。知る人ぞ知るこの日ここでしか頂けない個数限定の名物ケーキは今年も大人気。カフェアイリスを訪れる人並みは途絶えることなく、くつろぎの場として定着してきたようです。



同窓会バザーの歴史は長く、その全てに携わってこれた野村幹事（高女52・専保2）はいわば同窓会バザーの看板娘。そのにこやかでユーモラスなお客様との値段交渉は



名物と言えるでしょう。「今は同窓会バザーで忙しくなりましたが、バザーの始まった頃は、私たち幹事もみんなで生徒の文化祭を見て回っていたんですよ。

献品を下さった皆さんのお気持ちを大切に思えばこそ、一つも残ることなく売らなくてはと力が入りますね」と、さすがレジェンドの心意気。おかげで今年もあっという間の完売でした。

勿論バザーの舵取り役はバザー委員です。「同窓会バザーは同窓会幹事、ホームカミングデー委員をはじめとするたくさんの同窓生のご協力を頂いて開催されます。時代が変わっても皆様より献品を頂けますこと、手作り品の製作にご協力いただけることに心より感謝しています。同窓



今年も満員御礼完売です！



会バザーの成功に向けて同窓生の輪が年々広がることが私たちの大きな喜びです。バザー収益は同窓会活動費として、そして同窓会として一番大切な日である8月6日の平和祈念式に充てられています。11月3日の同窓会バザーを、皆様の懐かしい母校にお帰り頂く良い機会にして頂ければバザー委員一同こんなに嬉しいことはありません」と笑顔で語る委員長の中村さん。



「今年のフェルト小物、高校生にも大人気だったわね！来年の手作り品は何にする？」

「あのお惣菜パン、あっという間に売れたから来年はもっとたくさん仕入れない？」

「クッキーは100円、200円の小袋が人気ね～」

早くもバザー委員の皆さんは来年のバザーに向けてのアイデアで頭が一杯の様子でした。

皆様のご協力に感謝申し上げます。

手芸品製作がお得意な方、募集しています。



今年の手作り品

支部会だより

広島地区 | 10月14日(金)
ANAクラウンプラザホテル/参加者100名

10月14日、第45回広島地区会の集いを開催しました。今回、ANAクラウンプラザホテルに会場を移し、ソプラノ歌手、羽山弘子さんを東京からお迎えしました。羽山さんは本校卒業後、イタリアのヴェローナ市国立音楽院に進学され、グローバルにご活躍です。「アヴェマリア」など7曲の素敵な歌声を聞きながら、秋のひと時を楽しみました。最後は全員で「学生時代」を合唱し、各々の懐かしい学生時代にタイムスリップしました。100名の参加を頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。素敵な料理を頂き、同窓生の元気な顔に接し、楽しいひと時でした。(吉光 みつえ/高25)



県北地区 | 10月22日(土)
レストラン華北/参加者12名

黒瀬真一郎先生をお迎えして、5年ぶりに会を開くことができました。会のお知らせに「お子様連れ大歓迎!」と記しましたら、2名の方がお連れ下さり、にぎやかな会になりました。久しぶりの讃美歌、お祈り、校歌…学生時代に思いを馳せました。黒瀬先生は、現在、奥田元宋・小由女美術館の館長としても御活躍です。当日開催されておりました「上村松園展」や、来年予定されている「山下清展」のお話をして下さいました。皆様も是非おでかけ下さい。残念ながら、庄原市からの参加が有りませんでした。次回はぜひお越し下さい!(花園 みどり/高31)



山口支部 | 10月22日(土)
亀井様宅/参加者5名

今年も中部地区会は、同窓生の亀井さん宅で彼女の手料理を頂きながらの大変楽しい会となりました。今迄沢山の留学生を受け入れていらっしゃるせいか、お料理のレパートリーも数多く、ご自分で育てた野菜を使ったお料理、本格的なチキンライスに皆大満足でした。食後は、同窓生の渡辺さんのご指導のもと「絵手紙」にチャレンジ!筆を動かしながら、中学校時代の美術の授業の思い出話に盛り上がり、懐かしい当時を振り返ることができました。参加人数は5人と少なかった分同窓生の絆が深まった会となりました。(正木 由紀子/高27)



福岡支部 | 11月12日(土)
ホテルニューオオタニ博多 中華料理「大観苑」/参加者21名

本部より大矢会長、塩冶副会長、佐賀から諸隈支部長の御出席を頂き、讃美歌で会を始めました。会長からは、母校と同窓会の現状、特に創立130周年の諸行事の報告や募金協力への熱い呼掛けがありました。今年は支部会員柴田有紀様(高43)によるフルート演奏に暫し耳を傾けながら、私達なりのささやかな130周年のお祝い気分になり感謝でした。お料理も大変好評で久しぶりに参加の方も交えて各テーブルの話は尽きない様子でしたが、最後は校歌で、57年目となった支部会を終える事が出来ました。(瀬良 紀子/大英11)



中部ブロック | 11月16日(水)
名鉄グランドホテル「北京宮廷料理 涵梅舫」/参加者13名

“中部ブロックの集い”を、名古屋の「北京宮廷料理 涵梅舫」で実施しました。今回は、大矢みどり会長に出席いただき、三重、長野、愛知、岐阜の4県から13名が参加しました。久しぶりに参加された高校5回の方も、お子様同伴で初参加された高校51回の方もいらして、幅広い年齢の集まりとなりました。創立130周年の今年、社会の大幅な変化と同様に、広島女学院を取り巻く環境も大いに変化していることを大矢会長から報告を受けました。広島から遠く離れた中部ブロックのメンバーでは、具体的に母校のために何かできる訳ではありませんが、卒業生同士の顔の見える関係の構築は、精神的に心強く、いざという時のネットワークになるのではないかと考えます。今回も、広島女学院時代を皆で懐かしみ、同窓生のよしみで、直ぐに和気あいあいとしたものとなりました。(中部ブロック長 柳井妙子/文日9)



関東ブロック | 10月8日(土)
ANAインターコンチネンタル東京/参加者239名

10月8日に関東ブロック主催で母校の創立130周年を祝う会を開催いたしました。湊晶子先生から、礼拝では「人生の優先順位」と題したメッセージを頂き、講演では「母校の建学の精神」として、母校の現状と女性のライフキャリアを生かす道を教えて頂きました。星野春夫先生のお祈りと乾杯により会食に移り、130年の歴史を感じる新旧の映像を見ながら楽しく歓談いたしました。来賓の日野原重明先生(聖路加国際病院名誉院長)からは、お父様の日野原善輔先生のご経歴や、ご自身の若き日の女学院でのエピソードなど伺い、「今でも広島に行くときと甘酸っぱい思い出がよみがえる」と語って頂きました。続いて、NHK交響楽団で活躍中の田中晶子さんによるバッハの「無伴奏パルティータ第3番」の演奏でヴァイオリンの澄んだ音色が会場いっぱいに響きわたり、「主よ、人の望みの喜びよ」ではサプライズで星野先生にピアノ伴奏のご協力を頂き、盛り上がりました。高女45回生(96歳)から高校67回生(20歳)まで、当初の予定人数をはるかに上回る申込みを頂き、嬉しい悲鳴ながら一時はどうなるかと思われる状況もありましたが、皆様のご協力のもと無事に終えることができましたことを、心より御礼申し上げます。(関東ブロック長 坂下 恵/文英1)



Letter from 同窓生



若林由美子さん（高38）

のびのびとした自由な校風が影響していたのでしょうか、女学院で過ごした6年間はとても楽しかったことを憶えています。高校生の頃から将来は英語を使う国際的な仕事をしたいと漠然と思っていました。その思いがなかったのか、現在は羽田空港で航空機の離発着や空港全体の航空交通流をコントロールする航空管制の仕事をしています。

仕事ではパイロットと無線を通じて基本的に英語でやり取りを行います。英語は道具にすぎず大切なのはその道具を使ってきちんと相手とコミュニケーションをとることです。アジア系の方の英語は聞き取りにくいことがあり、リクエストを理解できずそれに応えるのが難しいことがあります。わかるまで何度も繰り返してもらうのですが、そんなときは自分の力のなさを痛感します。また機内で急病人が発生することもあり、できるだけ早く着陸できるようにサポートします。無事に到着し、パイロットから「Thank you」という言葉をいただくと、「今日はよかった」と非常に嬉しく思う日もあります。

この仕事は自分一人ではなく、10人くらいのチームの協同作業で成り立っています。チーム一体となって和を保ちつつ仕事をするにはお互いのコミュニケーションが欠かせません。このチームワークを大切にする気持ちは、多感な時期に笑ったり泣いたりしながら女学院で育てていただいたおかげであると感謝しています。

リレー エッセイ

湊先生とともに—— 新しい女学院、はじまる。

湊晶子院長・学長が広島女学院大学に就任されてから三年が経とうとしています。私は人間生活学部長として、また副学長として学長のそばにお仕えし、お仕事をぶさばさに拝見してきました。ご就任直後には学院・大学に次々と大きな問題が発生しましたが、先生がこれまでに築いてこられた強力な人脈と綿密な組織運営によって大事に至らぬよう収めてくださいました。

大学が置かれている厳しい状況を乗り越えるための全学改組も推進してされました。昨年十月には不慮の事故に遭われ右足首を複雑骨折されたにも関わらず、強靱な体力と精神力によって苦しいリハビリに耐えられ、何と二か月で復帰されたのです。その後は学長のリーダーシップの下、国際教養学部改組と人間生活学部一部改編を骨子とした二学部五学科構想をまとめることができました。その間にも幾度となく曲折がありましたが、その度に文部科学省に足を運ばれ直接交渉をしてくださり事なきを得ることができました。

今、わたしたちは湊先生という素晴らしい院長・学長をお迎えすることができ、新しく変わる絶好の機会を得ています。大学はこれから、女性「ぶれない個」を確立し、生涯にわたって自己のキャリアを築いていくためのライフキャリア教育を進めていきます。そのためには、教職員が一体となることはもちろん、同窓生の皆様のご支援をいただく必要があります。

卒業生がいっ

つも大学に

パワーメン

トセンター

の設置も計

画していま



大学 副学長
桐木建始先生



最後の同期会 高16・短15・大英16

10月20日、横浜にて、首都圏に住んでいる卒業生で同期会を行いました。高校の先生もご出席下さり、楽しい時間を過ごすことができました。昭和50年から約40年間続いたこの会ですが、今回をもって最後と致しました。同期会という名前はなくなりますが、今後も変わらず皆様にお会いしたいと思っています。

（元 中部ブロック長 片山和子 高16）



想い出すままに

元東北ブロック長
音山 幸子（高女49回 91歳）

実父は国家公務員であったので小学校は四回変わり、広島に転動して来て白島小
学校に入っていた。その頃も女学校受験は大変であった。御近所の修道中学校の先生
をなさっている方が、広島女学院という中々よい学校があり推薦制度があると御知らせ
下さり早速推薦試験日に間に合い合格することが出来た。昭和十二年のことである。
戦争が始まったとはいえ、楽しい想い出も多く、川下りや蓐狩り等が想い出に残ってい
る。それと聖書の時間に「今貴女達は内職したりして真面目にこの時間を過ごしてい
ないが、人生で色々の出来事に出合った時この時間を想い出すでしょう」と言う先生の
言葉が、私の人生をささえてくれ医学校三年生の時洗礼を受け、今も山形本町教会
に行っている。クラスメートの大半は卒業二年後まだ御嫁に行かないで広島に多くいた
ので、原子爆弾で死亡してしまった。このことについては機会があれば書きたいと思っ
ている。名古屋の医学専門学校卒業後、一生名古屋に住むなら一年ぐらい東京でと考
え、インターンを東京の大蔵病院でしたが、そこで一緒だった山形の人と結婚すること
になった。結婚した相手の音山は北里柴三郎氏や順天堂大学を作った佐藤進氏と独逸
留学をして、今でもその業績は旧済生館内の展示場に音山コーナーとして残っている。
若くして死亡したので、医学校を作ることが出来ず土地のみ残っている。山形は結婚し
て初めて来た土地で知人友人も一人もいないので心細い思いがしていたが、広島女学院
の卒業生柳原智恵さんがおられ、本町教会の幼稚園の先生や山形県児童相談所長
等をして活躍をしていられることを知り時々御会いしていた。同窓会から東北支部を
作って欲しいと連絡があり、その御相談中に病で亡くなられてしまった。広島女学院の
同窓会で海外の旅をしたことがあり、私
も娘と二人で参加した。行先はカナダで
あり、広瀬先生も参加され総員四十三
名であった。そのことから広い東北地方で
は同窓会を同窓生のいる県で行なうこと
を計画、第一回を山形で行い、以後仙台、
秋田、郡山等で毎年おこなっている。



筆者 左から2番目
広瀬ハマコ先生 右から2番目

文化の継承

関西ブロック長 山口 裕子（高15回）

鶏口牛後の四字熟語は私にも当てはまったのです。
同窓生の少ない奈良県に住んで“うっかり”同窓会に出
席したために支部長になり、年長故にブロック長に。同窓
生の多い地区に住んでいたらその他大勢で済んでいた
筈なのに役立たずの私で申し訳ないと、実は心中深く詫
びてはいるのです。

人が何に興味を持ち何に夢中になるかは、神の摂理
なのでしょう。人間の地平からは単なる偶然の積み重
ねのようでもあります。中学校の修学旅行で法隆寺を見
たのをきっかけに、私は奈良に出会ってしまいました。高校
の国語の時間に小田時子先生が正倉院展に行った話
をされたのがどれ程羨ましかったことか。

正倉院宝物は聖武天皇の遺愛品を核にしているの
で、八世紀の文物が残っているのです。当時世界の中心
だった長安からもたらされた最高級品がこれ程大量に、
地下からの発掘ではなく伝世しているというだけでも世界
の奇跡です。千余年の間に自然劣化するのみならず、戦
乱も落雷もあったのです。どれ程多くの人々に守られてき

たことか。正倉院展を見る
度に、宝物自体の価値とそ
れらを保存修理してきた努
力との両方に思いを致しま

す。宝物の保存のために同じ物は少なくとも原則十年は
出陳されません。この年齢になると、もうこの宝物には二度
と会えないかもしれないと思いつつ鑑賞しています。

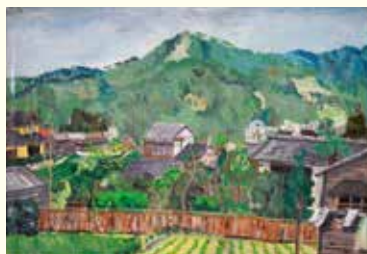
話題が同窓会から離れてしまいましたが、根は同じだと
思うのです。我々は人間の築き上げてきた文化の高み
を、次の世代に継承するべきだと思います。学校時代には
わからなくても、とにかく種蒔きしておく。自分を振り返っ
ても、高校生の時殆どわかってはいませんでした。そのうち
何らかのきっかけでそれらを理解し味わえる時がくる。その
きっかけの一つが同窓会であってほしい。学校時代を思
い出したり、世代を超えて同窓生の生き方を知って刺激
を受けたり、お互いに学び合ったり、そうやって文化を次
世代に繋いでいく。そんな場を提供するボランティアをさせ
てもらっているのだと思っています。



クリスマス会の準備委員会にて

“ヒロシマコレクション”の作者を捜しています!!

1955年頃、広島女学院中高生の描いた絵がユネスコを通してイギリスに贈られました。その中の20点が今年7月学校に“The Hiroshima collections”として返還されてきました。絵には作者名と当時の年齢が記されており、これまでに3人の作者に返還されていますが学校ではその他の作者の所在を捜しています。その内6点をご紹介します。お心当たりの方は広島女学院中学高等学校事務室(082-228-4131)までお知らせください。



K.Sさん(16才)



T.Tさん(16才)



A.Kさん(15才)



J.Kさん(14才)



T.Yさん(13才)



M.Nさん(15才)

“The Hiroshima collections”

2017年度年間行事予定	
4月21日(金)	全国代表者会議
4月22日(土)	2017年ホームカミングデー
4月	福山地区会
5月	愛媛・高知支部会
6月	佐賀支部会/賀茂地区会
6月2日(金)	岡山支部会
6月14日(水)	関西ブロック会 宝塚ホテル
7月上旬	関東ブロック 夏雲の集い 銀座教会
7月～8月	「小さな祈りの影絵展」への協力
8月6日(日)	広島女学院 平和祈念式
10月	広島地区会/山口支部会
11月3日(祝)	同窓会バザー
12月	クリスマス会(宗教委員会)
	クリスマス会(関西ブロック)
	クリスマス会(佐伯地区)
2018年1月	高校 同窓会受入式
3月	大学 同窓会受入式

随時 HPに更新していますので、ご確認下さい。

召天

謹んで哀悼の意を表します。

沼田 宣子(平岩)	高8	江木 悦(堀江)	専家21
大田 昭子	高27	大徳 英子(平見)	短2
岡本 洋子(森元)	短29	田中 志賀子(八本)	短7
宮本 孝子(宮本)	高12	中原 勝子(矢田部)	専庭5
山本 八重子(本川)	高女49	永島 祐子(金津)	短30
今澤 真理子	高29文日11	濱本 英梨子	生文3
築山 久代(浦田)	短3	佐々木 晴美(松岡)	短23
下石 春枝(山根)	高女52	山根 美沙子(青木)	専保2
河野 繁子(小林)	高4短3		
門野 栄子(天野)	高女40専英13		
山本 美代子(石川)	高3		

2016年7月から11月までにご逝去のお知らせをいただいた方々です。(敬称略)

寄付 2015.12月・2016.8月～11月

中田チズ(高20回)	5,000円
関西ブロック	10,000円
湊晶子先生	30,000円
橋田和子様	10,000円
高29回同期会	4,652円
帰国したヒロさんに再会する会	3,573円

2017年 ホームカミングデーのお知らせ

テーマ 今、私たちにできること～平和を実現する人々は、幸いである～

日時 2017年4月22日(土) 10:30～13:30
場所 リーガロイヤルホテル広島
会費 10,000円

2017年
ホームカミングデー実行委員会
当番学年

高校17 短大16 大英17
高校27 短大26 文英9 文日9
高校39 短大38 文英21 文日21

編集後記

アドベントの季節を迎えた母校にはクリスマスツリーとキャンドルが飾られ、讃美歌コンクールに向けて練習する生徒たちの歌声が響きます。変わらない母校の懐かしい風景に、かつての自分の姿と思い出がよみがえります。若き日の原風景ともいえるかけがえのない母校に私たちは同窓生として何ができるのか、今、あらためて考えたいと思います。